

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

平成30年度病虫害発生予察特殊報第4号について

本県のチャにおいて、アミメアザミウマ亜科の一種 *Anisopilothrips venustulus* (Priesner) の発生が認められ、特殊報第4号を発表したので送付します。

なお、病虫害防除所ホームページ ([www.jpjn.ne.jp/kagoshima](http://www.jpjn.ne.jp/kagoshima)) にも掲載しています。

## 病虫害発生予察 特殊報第4号

平成31年2月27日  
鹿児島県病虫害防除所

1 病虫害名 アミメアザミウマ亜科の一種 *Anisopilothrips venustulus* (Priesner)

2 寄主植物名 チャ *Camellia sinensis* Kuntze (ツバキ科)

### 3 発生地および同定

- (1) 発生確認 平成30年9月
- (2) 発生確認地域 鹿児島県南九州市知覧町
- (3) 同定機関 門司植物防疫所

### 4 発生状況及び被害状況

鹿児島県農業開発総合センター茶業部（南九州市知覧町）の発生予察茶園において、アミメアザミウマ亜科の一種 *Anisopilothrips venustulus* (Priesner) の吸汁による被害葉が発生した。被害は裾部や摘採面の下部に位置する古葉が葉脈に沿って白化し、被害が進むと落葉する（図1）。新芽にも寄生するが、摘採により持ち出されるため、残った成葉に被害が発生する。これまで、静岡県以西～鹿児島県の主に木本類で発生が確認されているが、チャを含めた農作物での発生確認はこれが初めてである。

### 5 病虫害の特徴

- (1) 形態  
雌成虫は褐色で体長1.1～1.2mm。前翅は褐色で基部、中央部、先端部に淡いバンドを持つ（図2左）。雄成虫は確認されていない。幼虫の体色は黄白色で腹部背面には排泄物が固着した点状の褐色の物質が認められ、尾部末端には球状の排泄物を保有する 경우가多く、クリバネアザミウマの幼虫に似る（図2右）。
- (2) 寄主植物  
アケビ科（ムベ）、クスノキ科（ヤブニッケイ、タブノキ）、クワ科（イヌビワ）、ツツジ科（モチツツジ）、ブナ科（ツブラジイ）、マタタビ科（シマサルナシ）
- (3) 被害  
成虫は葉の表裏を、幼虫は葉裏で、ともに吸汁加害する。葉脈に沿った吸汁痕による白化に始まり、寄生密度が高まると葉全体がかすり状を呈し落葉する。
- (4) 分布  
日本、東南アジア、バミューダ諸島、アゾレス諸島、フロリダ～カリブ諸島、フィジー、ニュージーランド、オーストラリア東部

### 6 防除対策

- (1) 古葉に寄生が多く見られ、整せん枝、すそ刈りにより密度が低減すると考えられる。
- (2) 農業開発総合センター茶業部での発生は、整せん枝やすそ刈りの実施回数が少ない無防除園のみで、慣行防除園での発生は認められていない。

### 7 参考文献等

- (1) Kudo, I.(1992)Panchaetothripinae in japan(Thysanoptera, thripidae):3. Monilothripini and Trypactothripini. Japanese Journal of Entomology, 60(3),467-482.



図1 被害の様子（葉脈の白化）



図2 「*Anisopilotrips venustulus* (Priesner)」成虫（左）と幼虫（右）  
（スケールはともに1mm）

※幼虫の尾部末端には球状の排泄物を保有する